

日本ジオパーク新規加盟をめざして…

ジオパークについて知る！

土佐清水では、2015年より日本ジオパークネットワークへの新規加盟を目指し活動しています。なんとなくは知っているけど、そもそもジオパークって何なんだろう？何かいいことがあるんだろうか？ジオパークに関する疑問にお答えします。



ジオパークのお姉さん、土佐清水ではジオパークの認定を目指しているらしいけど、そもそもジオパークって何ですか？



そこにある大地や地球を大切に、大地と共に生きていく地域のことやその活動のことを言うよ。ジオパークは地質学的に重要な場所や景観といった「大地の遺産」を大切にすることで、地球への理解を深め、地域や世界全体を良くしていこうという世界的なプログラムなんだ。ジオパークは、1990年代半ばにヨーロッパの地質学者たちによって提唱されて、それが世界中に広がっていき、2015年にはユネスコの国際的なプログラムになっているんだよ。今、日本では、9つの世界ジオパークと43の日本ジオパークがあって、土佐清水は日本ジオパークへの新規加盟を目指しているんだ。



なんで、「大地の遺産」って大切にしないといけないの？



その理由はいくつかあるんだけど、2つ教えておくれ。1つは、「**大地は昔のことをたくさん知っているから**」だよ。地層や岩石などは、どこにでもあるものだけど、それは全て地球のカケラで、地球が進化してきた歴史を記録しているものなんだ。そこに残されている情報を読み取ることで、地震や津波など過去の災害のことや、大昔の地球環境のことがわかるんだ。例えば、土佐清水で有名な竜串の奇岩には、1700万年前に日本列島が今の場所まで動いていた頃の地震や津波の痕跡がたくさん残されている。よく観察することで、その時の様子なんかを想像することができるんだよ。地球温暖化や地震や津波などの災害にどう対処していくかというのは、今を生きる私たちにとって大きな課題だけど、大地の遺産はそれに対するヒントをたくさん教えてくれるんだ。大地の情報を読み解き、未来に活かしていくことが大切なんだ。そして、もう1つの理由は「**大地は全てのものの土台だから**」だよ。地球上にはたくさんの人が住んでいて、場所によって色々な文化や暮らしがあるよね。文化や景色の違いがその「地域らしさ」を作りだしているよ。その地域らしさは大地がつくりだしたと言ってもいいんだ。例えば、土佐清水と言って思い浮かべるものって、足摺岬のツバキ林や新鮮なお魚なんかだと思うけど、その両



へー、ジオパークって奥深いんですね。ちょっと興味湧きました。でも、ジオパークをやったらどんないいことがあるがやろうか。



大きなところで言ったら、世界が平和で幸せに満ち溢れたものになるかもしれないし、土佐清水がより良いまちになるかもしれない。君自身でいったら、スケールの大きな人になれるかもしれないよ。



ええ、ジオパークすごい！



一つ一つ説明するね。ジオパークはユネスコの世界的なプログラムで、その目指すところは世界平和や人類共通の幸せなんだよ。

そして、ジオパークの活動として、地域の人たちが自分たちのまちに誇りを持ち、大地の遺産の保全やそれを活かした観光（ジオツーリズム）を行っていくことで、地域を活性化させるということも不可能ではないよ。また、ジオパークを通じて、様々な人たちが交流し、話し合う中で、新たな発見や価値観が地域にもたらされるかもしれないよ。

ジオパークで扱う地球規模の時空間を体感することで、きっと地球サイズの大きなスケールで物事を捉えることができるようになるはず。そのスキルはこれからの社会にとって必要なものになるし、そういった人がこれから地域や社会を良くしていくくれるはずだよ。



へえ、すごいね。僕、もっとジオパークのこと知りたい！



じゃあ、来月は土佐清水の大地のスゴイところを話すようにするね！



来月は土佐清水の大地の特徴について、私、森口がお話します！

森口専門員

ジオパークに関するアンケート結果

昨年、12月に行ったアンケート市内外の410人の方に回答いただきました。ご協力ありがとうございました。結果を Web サイトに掲載していますので、ご覧ください。

土佐清水ジオパーク構想▶お知らせ▶アンケート結果

